04

TRAVEL

THE ROAD

——「そこに山があるから」
登山家ジョージ・マロリーが、なぜエヴェレストを目指すのかを問われたときに、こう答えたという。
ではなぜ、人はステアリングを握って、クルマを走らせる衝動に駆られるのか?
——「そこに道があるから」
グランドツーリングを愛する人なら、そう答えるだろう。
コクピットにひとたび身を委ねたならば、眼前の道をどこまでも走り続けたいという衝動。
さあ、目の前の地平の彼方へと真っ直ぐに伸びる道、または幾重にもカーブの続く道を
どこまでも走ってみようではないか。

コーディネート●岡本きよみ
coordinated by OKAMOTO Kiyomi

太古の地球を感じるグランドサークルの旅。

ユタ州の
最新情報はこちら

アリゾナ州の
最新情報はこちら

Los Angeles
ANA NRT - LAX
p146-147

break one's journey
Las Vegas
p142-143

ここで紹介する7つの道を、下記3つの観点から5点満点で評価した。どの道も風光明媚であることに間違いないが、そのなかで厳しく採点した。技術度は難しいコースであるというより、走って楽しいワインディングロードであるかの指標として設けさせてもらった。

景観度：フロントウインドウ越しの景色の素晴らしさの度合い。
冒険度：日本ではまず普段経験できない非日常的である度合い。
技術度：ドライビングスキルが要求されるテクニカル度合い。

THE ROAD [07]
Capitol Reef Nationl Park
p140-141

THE ROAD [05]
Arches National Park
p134-135

THE ROAD [04]
Castle Valley
p132-133

積雪のため
引き返した地点→

THE ROAD [06]
Canyonlands Nationl Park
p138-139

Grand Circle
3500km

THE ROAD [02]
Monument Valley 1
p126-127

THE ROAD [03]
Monument Valley 2
p128-129

break one's journey
Antelope Canyon etc...
p130-131

break one's journey
Zion National Park
p137

国立公園のビジターセンターには、おしゃれな絵葉書も売られている。今も昔もグランドサークルは、クルマで旅する冒険のルートなのだ。

THE ROAD [01]
ROUTE 66
p124-125

break one's journey
Sedona
p136-137

THE ROAD
[01]

景観度：★★★
冒険度：★★
技術度：★

ROUTE 66

Kingman ～ Seligman

映画『カーズ』の舞台ラジエタースプリングスのモデルとなった町、セリグマン。グランドサークルの旅は、まずは旧き佳き時代のルート66を味わうところからスタート。

文・写真●西山嘉彦　text & photos by NISHIYAMA Yoshihiko

映画「カーズ」の登場キャラクターを思わせる実車が飾られているセリグマン。オフシーズンなので誰からも邪魔されずに心ゆくまで撮影できた。ルート66のペイントしたアメ車のピックアップトラックが目印のダイナー。観光地として整備されているキングマン。

スベガスを出立して、まず目指したキングマンの町に入ると、沿道に「66」という文字がやたらと目につくようになった。ここが今回のヒストリック・ルート66のスタートポイントだ。セリグマンまでのおよそ140㎞のショートトリップのはじまりである。

キングマンの町を抜けると、ルート66は片側1車線の対面通行となり、時折道路の先を横切る物体にハッとする。それは西部劇でよく見るタンブルウィード（回転草）だった。いよいよ西部劇の舞台に来たなと実感。対向車には遭遇せず、視界に入る走っているクルマもほとんど皆無。これぞ北米大陸を走る醍醐味！　しかし、ハイシーズンではこういかないらしい。ルート66を訪れたのはオフシーズンの2月。ギラギラした太陽を欲しなければ、オフシーズンがオススメ。

キングマンからセリグマンまでの道程は、ルート自体は単調だけれど、日本の高速道路を走るよりも短く感じた。一般道とはいえ制限速度は65㎞/h、104㎞/hだ。1時間と少々でセリグマンに到着、『カーズ』の登場キャラクターに似たクルマが迎えてくれた。観光客らしき人影は我々だけ。ハイシーズンには観光バスが沿道に何台も停まっているという。やはり、映画の中のラジエター・スプリングスを堪能するならオフシーズンに限る。ただし、名物のホットドッグを食べようと思っていたらオフシーズンにつき休業中……。オフシーズン、ハイシーズン、どちらを選ぶかは、読者諸氏の判断にお任せします。

『カーズ』のモデルとなった町でマックイーンを気取ってみる

Highlights
みどころ

ルート66の復興運動を行ったエンジェルさん。彼が営んでいた床屋はいまはビジターセンター&ギフトショップとなっている。使わなくなったクルマの世界各国のナンバープレートは、観光客が持ってきたものだ。

THE ROAD

[02]

景観度：★★★★★
冒険度：★★★★
技術度：★

Monument Valley 1

Kayenta ～ Oljato-Monument Valley

エル・キャピタンが右手に見えてくると、そこはナバホの神聖な大地であるモニュメントバレーへの入口。荒野に伸びた直線路は、強力なパワースポットへ続く。

文・写真●西山嘉彦　text & photos by NISHIYAMA Yoshihiko

閉まっている土産物の小屋前にクルマを停めると、人なつっこい犬が寄ってきた。エル・キャピタンを過ぎて右に曲がると、ほぼ真っ直ぐな道をおよそ19km ほど走るとモニュメントバレーのビジターセンターの入口に到着する。

パワースポットの真っ只中を走る

エンタという町でルート160から163へと左折。左にカーブした緩やかな坂道を登り切ると、思わず息をのむ景色が眼前に広がる（右ページ写真）。エル・キャピタンの頂が雲に突き刺さっている姿を右手に見ながら、ここから30数km先にあるモニュメントバレーのビジターセンターまで、ロードムービーの主人公にでもなったような気分でのドライブだ。

まるでナバホの土地を守る守護神でもあるかのように聳えるエル・キャピタンの横を通り過ぎると、神聖なエリアに入ったということを肌で感じられるようになる。モニュメントバレーはパワースポットとして有名だ。しかし、その規模の大きさは数あるパワースポットの中でも群を抜いているだろう。つまりここでは視界に入るすべてがパワースポット。これほど広大だとパワーエリアとでも呼びたいくらいだ。この神聖な大地を、乾いたアスファルトの道が一本、地平線に向かって真っ直ぐにのびている。行き交うクルマは少なく、ツーリストのレンタカーよりも地元ナバホの住民のピックアップトラックの方が多い。沿道にある粗末な小屋は、シーズンともなるとナバホの土産物が並ぶが、人影はなくひっそりとしていた。サイドウインドウを全開にする。車外の空気を感じながら見渡す限りの景色を独り占めしながらクルマを走らせる。ただコクピットに座り、地平の彼方へ向かってアクセルペダルを踏み続けるだけでスピリチュアルなパワーを感じられる場所は、そうはないだろう。

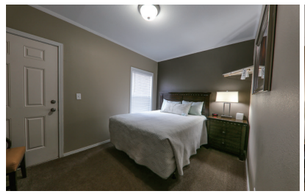
グールディングス ロッジには、クルマですぐ真横に乗り付けられるヴィラが 70 棟近くある。レンタカーで訪れる場合は、非常に便利。

Goulding's Lodge
グールディングス ロッジ

所在地：1000 Gouldings Trading Post Rd, Oljato-Monument Valley, UT 84536 アメリカ合衆国
TEL：+1 435-727-3231

ロックドア・メサの麓にあるグールディングス ロッジからの眺望は最高。特に朝陽と夕陽のゴールデンタイムの景色は美しい。

Stay
宿泊



ヴィラにはキッチンがついており、食材は敷地内のマーケットで調達可能。もうひとつの寝室からも外と直接出入りできるようにドアが設けられている。

THE ROAD
[03]

景観度：★★★★
冒険度：★★★★★
技術度：★★★★

Monument Valley 2

Navajo Nation

舗装されていない荒れた道を走る行為は、まさしくアドベンチャー。ジョン・フォード監督の映画の舞台を自らの運転で走るのは、映画マニアならずとも至福のひとときだ。

文・写真●西山嘉彦　text & photos by NISHIYAMA Yoshihiko

ビュート（孤立丘）が間近な未舗装路をドライブする気分は格別。オフシーズンだったため、行き交うクルマもまばら。夕陽の時間帯もいいが、写真のように、まだ暗い時間から朝陽が昇っていくさまを見るのも素晴らしい。

映画で幌馬車が走った景色を走らせる

ビジターセンターへとつながるモニュメントバレー・ロードの途中にある料金所で入園料を支払う。有名なミトンビュートの景色を眺めることはもちろんだが、クルマで訪れる最大の目的はバックカントリーの未舗装のバレーロードを走ることにある。このバレーロードの途中はかなり荒れた箇所もあるため、四輪駆動のSUVがいい。ウルスなら何ら問題ないだろう。

バレーロードの制限速度は15mph（約24km／h）。ずいぶんとのんびりした速度のように思えるが、仰ぎ見るビュートやスリー・シスターズなどの奇岩を眺めながらのドライブなので、気がつくとそれくらいのスピードで走っていることになる。そもそもこのような大自然の場所を自らステアリングを握って走ってよいものかと躊躇ってしまう。自走でグランドサークルを旅する場合、必ず走っておきたい道だ。しかし、ナバホの歴史をもっとよく知りたいという人もいるだろう。そのような方には、ナバホの現地ガイドツアーがオススメ。レンタカーやマイカーでは入ることのできないエリアまでガイドしてくれ、ネイティブアメリカンが描いた壁画やかつての遺跡をガイドしてくれる。午前のガイドツアーに参加して、午後改めて自分でバレーロードを走ってみるのもいいだろう。いずれにせよ、日が沈む前にはビジターセンターに戻ってきておきたい。太陽の傾きに合わせて刻々と表情を変えるビュートの美しさは、言葉では説明できないほどだ。

Foods
食事

The View Hotel
ザ・ビューホテル

所在地：Adjacent to the View Hotel, Monument Valley, UT
アメリカ合衆国
TEL：+1 435-727-3468

素晴らしい景色を眼下に眺めながら食事ができるレストラン。ナバホの郷土料理をライトでカジュアルに仕立ててあるが、量はヘビーなので残ったらお持ち帰りしてもいい。

ランチもいいが、オススメは夕陽の時刻。ビュートが真っ赤に染まる光景を眺めながらの食事は格別のひととき。

トルティーヤの代わりにフライドブレッドを使ったナバホタコがオススメ（左）。スープは想像以上に繊細な味付けで美味（中）。実際に本人が食べていたというクリントイーストウッド・フライトチキンは、カリッとしたスパイシーな衣で中身はジューシー。

THE ROAD
break one's journey 01

自らのドライブで辿るグランドサークルの旅だが、ルート周辺には通り過ぎるだけではもったいない絶景や話題のスポットがたくさん。ちょっと寄り道して、アメリカ大陸の自然を肌で感じることができるオススメポイントを紹介しよう。

文・写真●西山嘉彦　text & photos by NISHIYAMA Yoshihiko

photos by Arizona Office of Tourism

満水時には琵琶湖と同じくらいの水量になるというレイクパウエル。馬蹄形にコロラド川が蛇行しているホースシューベンドは、レイクパウエルの少し下流にある。

photos by Arizona Office of Tourism

ハイシーズンにはボートツアーなどが楽しめるリゾート地として有名。

sightseeing & stay
見る･泊まる

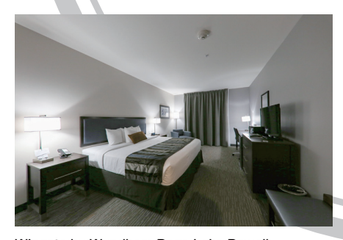
Lake Powell & Page

全米第２位の大きさを誇る人工湖レイクパウエル。夏場には碧い人造湖のボートツアーなども楽しめる。

photos by Arizona Office of Tourism

レイクパウエルの水は美しいブルーをしている。赤い岩肌とのコントラストが美しい。

ペイジからも見えるグレンキャニオンダムとグレンキャニオンダム・ブリッジ。朝陽でより一層周囲の岩肌は赤く染まる。



Wingate by Wyndham Page Lake Powell
ウインゲート バイ ウィンダム ページ レイク パウエル

所在地：671 Scenic View Rd, Page, AZ 86040
アメリカ合衆国
TEL：+1 928-484-1115

ホテルの客室からグレンキャニオンダムを遠くに見下ろすことができる。

グレンキャニオンダムは 1956 年に着工、10 年の歳月をかけて完成。ダム湖の全長はなんと 300km！

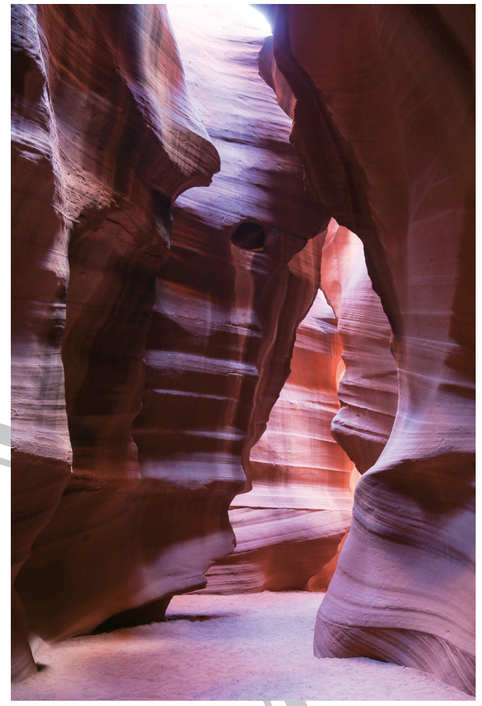
グランドサークルの中心に泊まる

グランドサークルをクルマで一周するとなると、宿泊する地点がとても重要となってくる。その際、観光や次に向かうポイントに便利な場所がいいだろう。そこで外せないのがペイジだ。今回の旅では、初日にロサンゼルスからラスベガスへと移動、2日目にセリグマンなどのルート66を探索し、遅いランチをセドナでとった後、2日目の宿としてペイジを選んだ。ペイジはいってみればグランドサークルの中心に位置しており、モニュメントバレーだけでなくグランドキャニオン、ザイオン、ブライスキャニオンを訪れる際のベースにももってこいの立地なのだ。今回の旅ではモニュメントバレーからモアブ方面にまで足を伸ばしたが、ペイジを起点として周辺の国立公園を巡り、ザイオン方面へ抜けてラスベガスへと戻るというショートコースを選んでみてもいいだろう。

さらに、ペイジはレイクパウエルやアンテロープキャニオンといった人気スポットがすぐそば。特にアッパー・アンテロープキャニオンはオフシーズンの方がオススメ。その理由は観光客が少ないというこの一点に尽きる。グランドサークルの有名な観光地のほとんどが、圧倒的スケールのランドスケープにその魅力がある。一方のアンテロープキャニオンは狭い渓谷内を歩いて散策するのだが、普通に歩いたら入口から出口まで5分とかからない距離だ。観光客が押し寄せるハイシーズンだと、刻々と変わる自然光で表情を変える自然のショーを心ゆくまで静かに楽しむことは難しいかもしれない。

太陽の動きで刻々と表情を変える自然の芸術

オフシーズンは夏場と違って、頭上から自然光が差し込むタイミングが少ないのがマイナスポイント。しかし、写真のように午前中なら誰もいないアンテロープキャニオンを散策することも可能だ。



岩の重なりによって、ベアーが座っているようにも見えるインスタ映えするポイント。

ハイシーズンにはこの場所にクルマが何台も停まることになる。

アンテロープキャニオンの入口には、ツアーガイドのクルマでしか行くことができない。陽気なナバホのガイドが撮影スポットを教えてくれるので助かる。

sightseeing
見る

Antelope Canyon

いまや観光客に大人気のアンテロープキャニオンだが、オフシーズンならばゆっくりと神秘的な時間を独り占めすることもできる。

普通に歩いたら５分とかからずに出口に出てしまう。スケールこそ他の観光地には叶わないが、いまもっとも人気のある観光スポットだ。

撮影のためにガイドがベストポイントを教えてくれるサービスも行ってくれる。撮影にはたっぷり時間を取ってくれるのが嬉しい。

THE ROAD
break one's journey 02

旅の醍醐味は寄り道にあり。それはクルマの旅でも同じこと。クルマをドライブするだけのロードムービーが存在しないように、旅を思い出深いものにするために重要な要素が寄り道に隠されている。なかでも視覚と味覚を満足させるポイントを紹介しよう。

文・写真●西山嘉彦　text & photos by NISHIYAMA Yoshihiko

レッドロックの絶景を愛でながら自然派食材を堪能する

テラスからのレッドロックの山々を眺めながらの食事は、特別な思い出になる。

foods
食べる

Mariposa

自家栽培のハーブをはじめとする有機野菜と厳選されたビーフ、海鮮を世界屈指のパワースポットでいただく贅沢。

photos by Mariposa.

屋内の席からもレッドロックの絶景を眺めることができる。ライトアップされた夜は、とてもゴージャスな雰囲気だ。

オーナーシェフのリサさんは、中南米で修行を積み、セドナの地で彼女流に解釈を加えた洗練されたラテンアメリカ料理を提供する。

まぐろのセビーチェは、リサさんの創作料理。レモン汁をかけたアボカドが口の中でほどよくまぐろのなまぐささを中和する。

メキシカンなポークカルニタスもリサさんの手にかかればこんなにお洒落な盛りつけに。上品な味付けのチリビーンズとの相性もいい。

デザートは盛りつけが見た目にも美しく、量も日本人にはちょうどよいサイズ。

Mariposa Latin Inspired Grill
マリポサ・ラテン・インスパイアド・グリル

所在地：700 AZ-89A, Sedona, AZ 86336
アメリカ合衆国
TEL：+1 928-862-4444

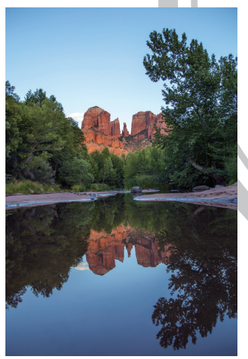
世界的にパワースポットとして有名なセドナは、セレブが集まるリゾート。グランドサークルの旅で訪れておきたい場所のひとつだ。ハイウェイをおりてセドナへ南下するノース・ステート・ルート89Aのルートも素晴らしい。沿道の景色は緑が溢れており、荒野を走るのとはひと味違う景観を堪能できる。

セドナはアップタウンとウエストセドナに分かれており、アップタウンにはアートギャラリーやお土産ショップが軒を連ねている。ショッピングも旅の楽しみのひとつと考える人には、この意味でもセドナはオススメだ。さらにセドナは、食を旅の彩りとしている人にもオススメ。セレブが集うだけあって、洗練されたレストランが多数存在する。なかでもここで紹介するマリポサは、セドナで3軒のレストランを成功させたオーナーシェフ、リサ・ダールが手掛ける最も新しいレストラン。メニューはラテンアメリカン料理とグリル料理なのだが、女性シェフならではの繊細な味付けと彩り鮮やかな盛りつけがいかにも日本人好み。アップタウンとウエストセドナのちょうど中間に位置しており、静かな環境でレッドロックを眺めながらの食事は、旅に格別の時間を与えてくれる。

そしてもうひとつ訪れたいのは、ザイオン。国立公園を横断するザイオン・マウント・カーメル・ハイウェイは荒々しい岩が道路にせり出しており、渓谷の中を探検するような感覚だ。グランドサークルの旅のラストにザイオンの神聖な山をバックにステイしてみてはいかがだろう。

大地のエネルギーを五感で受ける

ネイティブアメリカンも神聖視していたというセドナ。このセドナには特に強いエネルギー――ボルテックスを感じられる場所が４カ所あり、癒やしを求める人が世界中から集まる。



レッドロッククロッシングでは、オーク川に映り込むカセドラルロックの姿を見ることができる絶景ポイント。

赤土の上に立つ大きな十字架が特徴的なチャペル・オブ・ザ・ホーリークロス。

sightseeing
見る

Sedona

旅の途中に癒しとスピリチュアルな町として有名なセドナに立ち寄り、心身ともにリフレッシュしてみてはいかがだろう。

photos by The Sedona Chamber of Commerce & Tourism Bureau.

アーティストが大勢住んでいるというセドナには、アートギャラリーも数多い。ショッピングと共にアートギャラリーを散策するのも楽しみのひとつ。

ウィルソン・キャニオンにかかる橋。セドナ周辺にはトレイルコースも数多い。

聖なる山に囲まれたロッジで旅のラストしめくくる

客室は清潔でアメニティも充実。無料フィットネスセンターや屋外プール、屋外ジャグジーなどもあるので、リラックスした時間を過ごせる。

stay
泊まる

Hampton Inn & Suites Springdal

グランドサークルをクルマで一周する旅の最後の見所がザイオン国立公園。神聖な山々に囲まれたロッジは、贅沢な旅のラストを飾るのにふさわしい。

photos by Utah Office of Tourism

ヒルトン系の宿泊施設だけあって、エントランスは開放的で豪華な雰囲気。

ザイオン国立公園の入口から1.6kmの場所に立地。ザイオンの山々の麓に建つ絶好のロケーション。

Hampton Inn & Suites Springdale Zion National Park
ハンプトン イン & スイーツ スプリングデール ザイオン ナショナル パーク

所在地：1127 Zion Park Boulevard, Springdale, UT 84767 アメリカ合衆国
TEL：+1 435-627-9191